

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和7年4～6月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	55事業所
3. 回答率	44.0%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	4事業所
卸売業	2事業所
小売業	22事業所
サービス業	18事業所
合 計	55事業所

5. 実施時期

令和7年 7月上旬～8月中旬

6. 調査対象期間

令和7年 4月から6月（第1四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売 上：（増加）－（減少）

採 算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従 業 員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業 況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

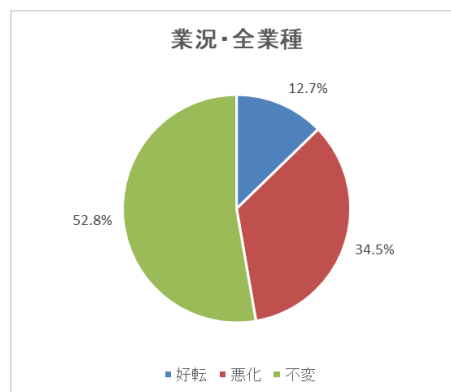
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ．概況

1．全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和6年4月～6月）のD I 値は▲21.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は12.7%、
悪化したと回答した事業所が34.5%、
変わらないと回答した事業所は52.8%だった。



令和6年4～6月の前年同期比について、売上増の回答もみられるが、変わらず仕入価格の高騰が課題となっており、価格転嫁が行えず、採算や資金繰りの面が悪化しているという声が多かった。

	R6. 4～6 前年同期比	R7. 1～3 前期比	R7. 7～9 見通し
全業種	▲21.8	▲16.4	▲10.9
製造業	0.0	11.1	▲33.3
建設業	▲50.0	▲50.0	0.0
卸売業	▲100.0	▲100.0	0.0
小売業	▲27.3	▲22.7	▲22.7
サービス業	▲11.1	▲5.6	11.1

来期見通し（令和7年1～3月）のD I 値については、▲10.9ポイント。

ほとんどの業種、悪化の見込み。サービス業は、好転の見込み。

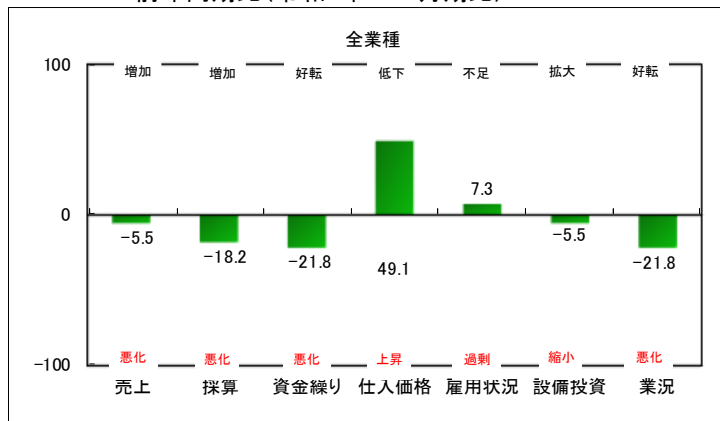
各業種で、仕入価格の上昇・人手不足が変わらず不安要素として挙げられている。前期調査より、D I 値が低下しており、最低賃金の上昇も不安要素の一つとなっている回答も見かけられた。

サービス業は、仕入れ価格の高騰など不安要素も挙げられているが、売上増の見込みや経費削減など様々な対策を行い、好転を見込む回答が多かった。

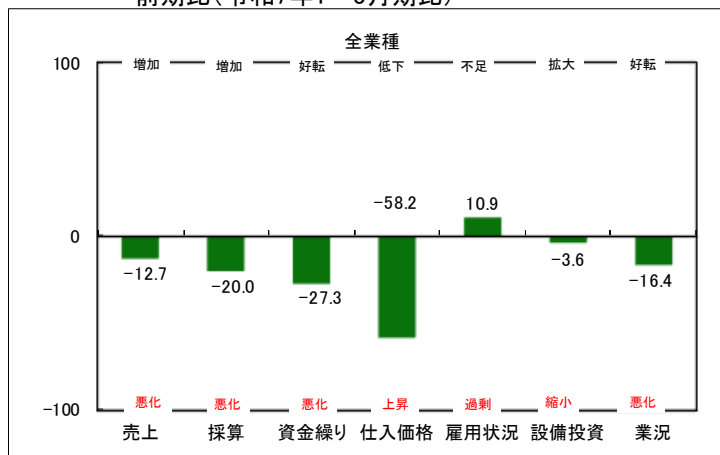
市内景気動向

全業種

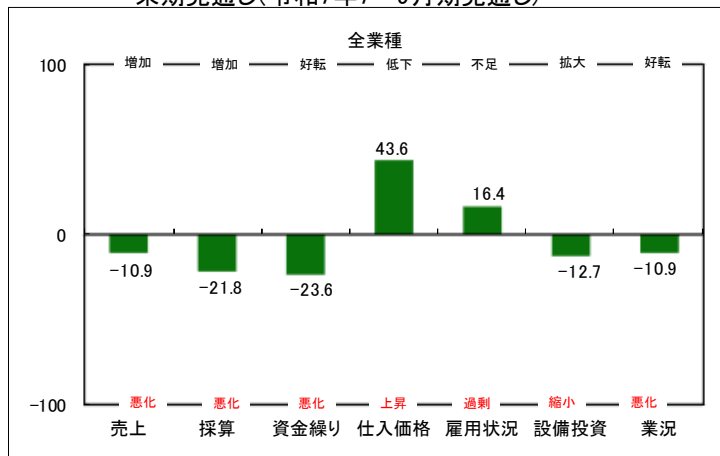
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



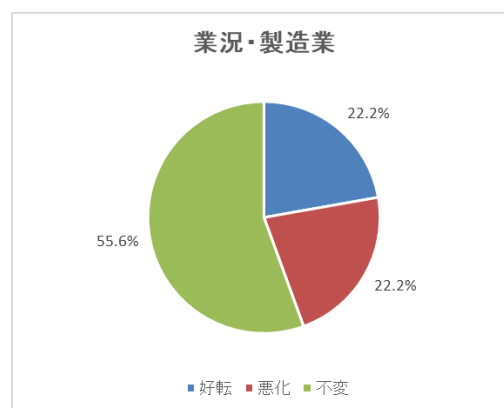
来期見通し(令和7年7～9月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、22.2%、
悪化したと回答した事業所が22.2%、
変わらないと回答した事業所が55.6%だった。



来期見通しD I 値については▲33.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【水産加工業】

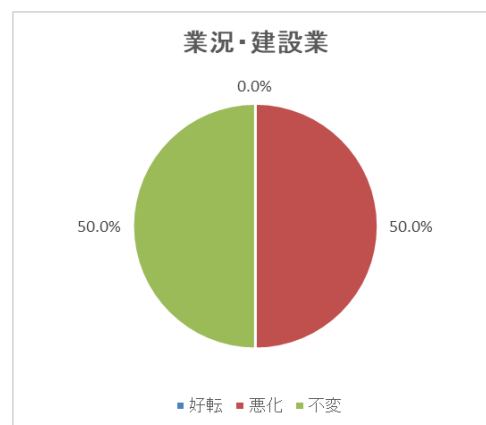
- ・「漁獲量が増え、魚価も高く推移した。しかし、未だ不漁期の中であると思う。漁期のタイミングが市場の価格と合ったため売上増。」

【金属工作機械製造業】

- ・「主要顧客（自動車産業）がトランプ政権の影響で発注量が減ったが、他業界向けに営業して補っている。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は50.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。



来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、現状維持の見通しとなっている。

○主な意見

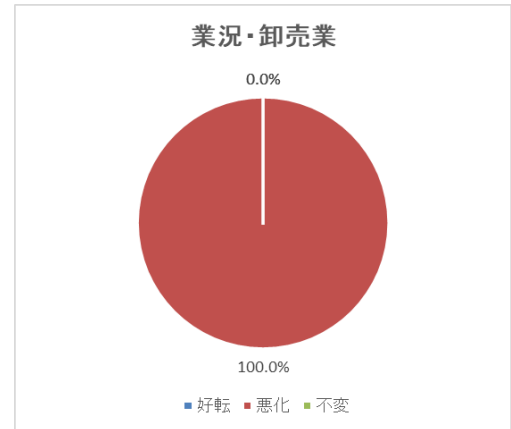
【電気工事業】

- ・「住宅の仕事を受注している」

- ③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲100.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が100.0%、
変わらないと回答した事業所が0.0%だった。

来期の見通しD I 値は0.0ポイントで、
現状維持の見通しとなっている。



○主な意見

【文房具・事務用品業】

- ・「納品（売掛）も減少しているが、小売り（店売り）の減少が大きい。」

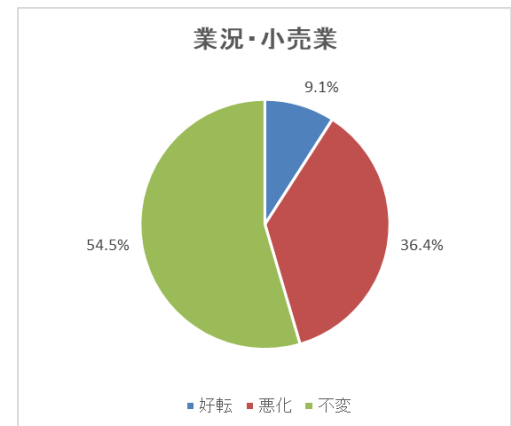
【建材卸業】

- ・「建設業界は減少状況。九州では熊本除き全県減少見込み」

- ④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲27.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は9.1%、
悪化したと回答した事業所は36.4%、
変わらないと回答した事業所は54.5%だった。

来期の見通しD I 値は、▲22.7ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【機械器具小売業】

- ・「エアコン需要の旺盛。仕入先の変更による粗利益アップ」

【自動車小売業】

- ・「今年も物価高が続き、去年以上に不景気になると思っています。」

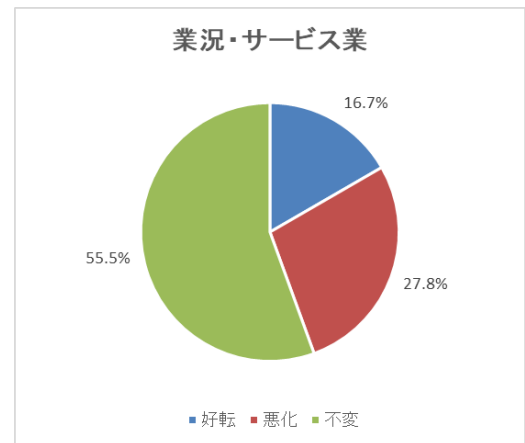
【飲食業】

- ・「宴会が減少している点と材料代が高騰している点」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のＤＩ値が▲１１．１ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は１６．７％、
悪化したと回答した事業所は２７．８％、
変わらないと回答した事業所は５５．５％だった。

来期見通しＤＩ値は、１１．１ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【リハビリサロン業】

- ・「業績悪化から機械等しばらく導入できず、他店と比べて目新しい物がなく新規・既存客共に減少している。」

【飲食サービス業】

- ・「売上増加の見通しが立ちづらく資金繰りも悪化している」

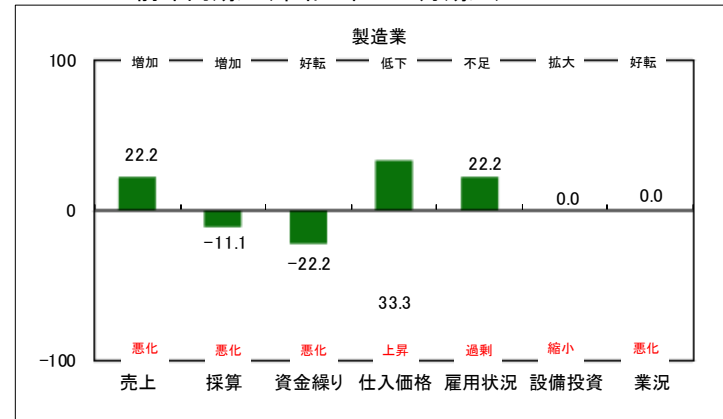
【自動車整備サービス業】

- ・「売り上げはあまり変わらないが、部品等仕入れの高騰は止まらない。変わらず人手不足である。」

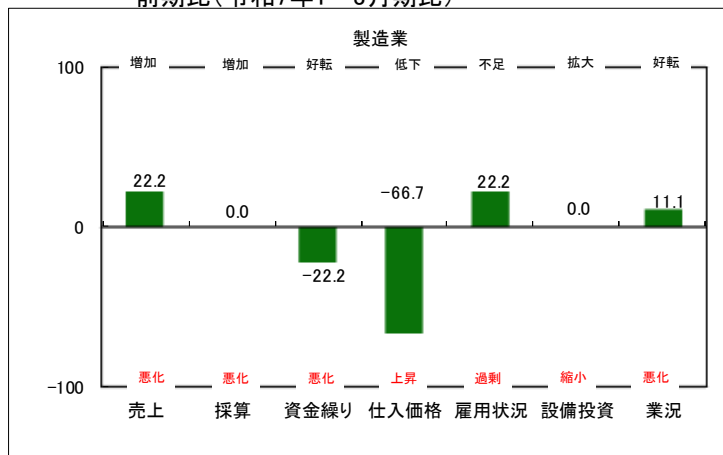
業種別景気動向

製造業

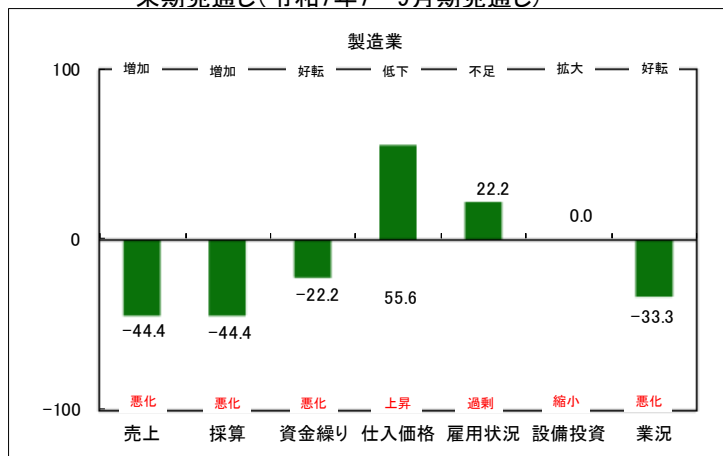
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



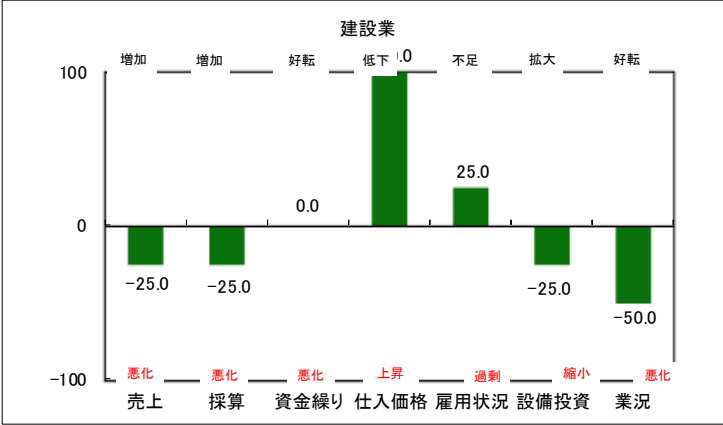
来期見通し(令和7年7～9月期見通し)



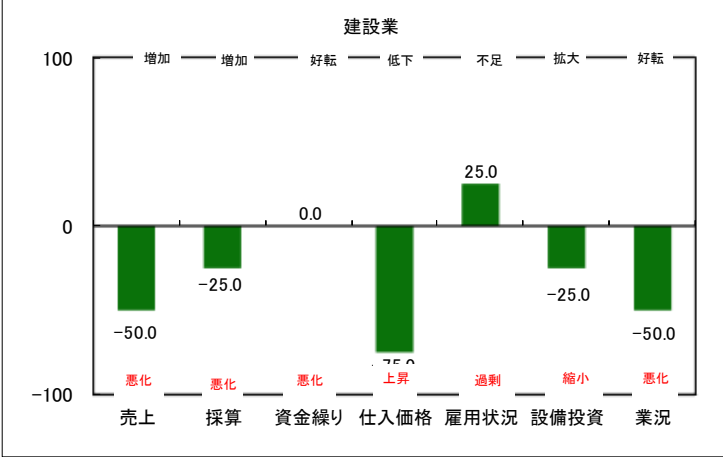
業種別景気動向

建設業

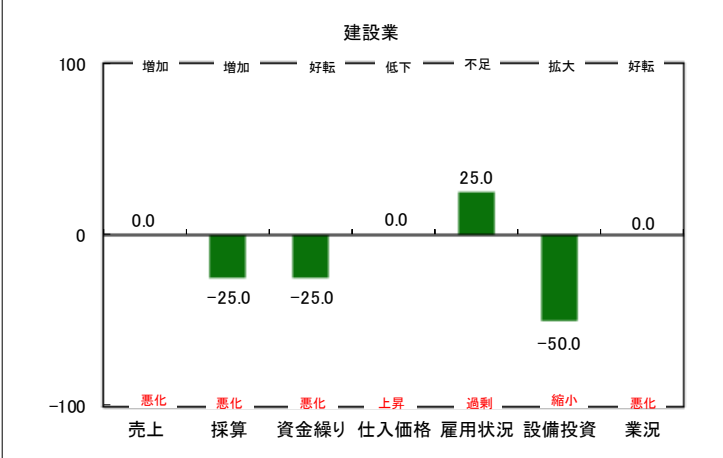
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



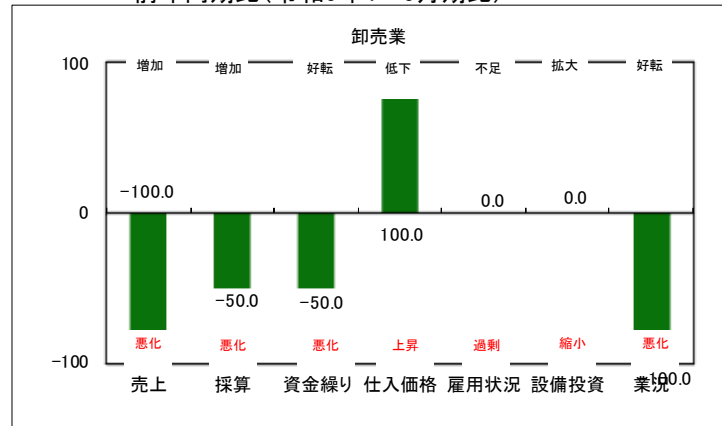
来期見通し(令和7年7～9月期見通し)



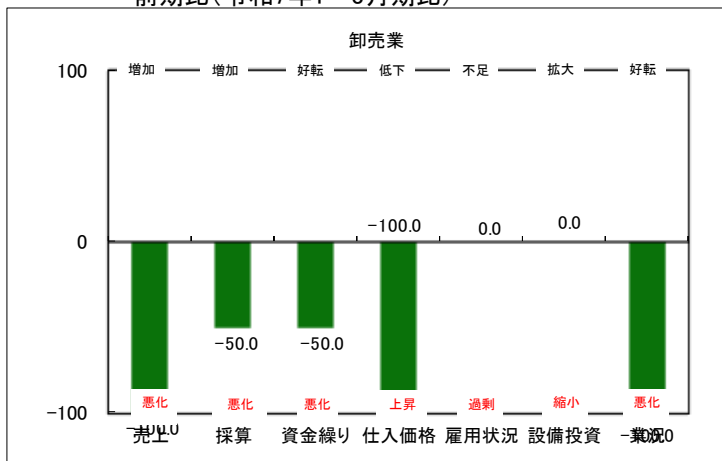
業種別景気動向

卸売業

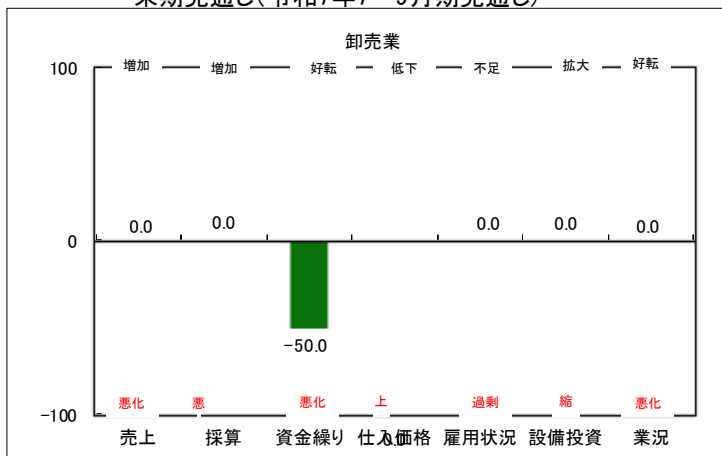
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



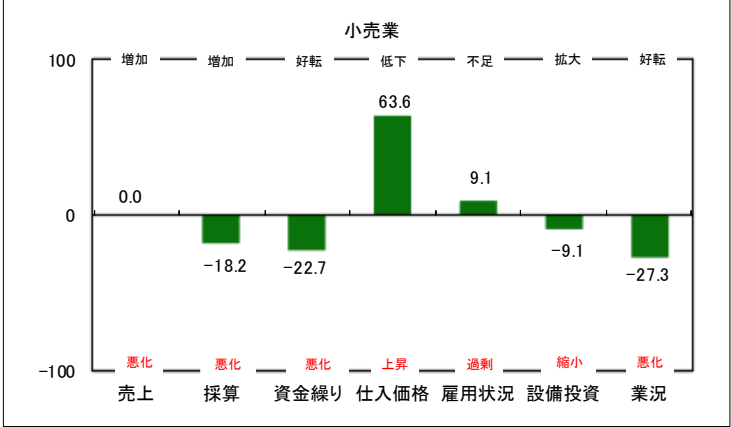
来期見通し(令和7年7～9月期見通し)



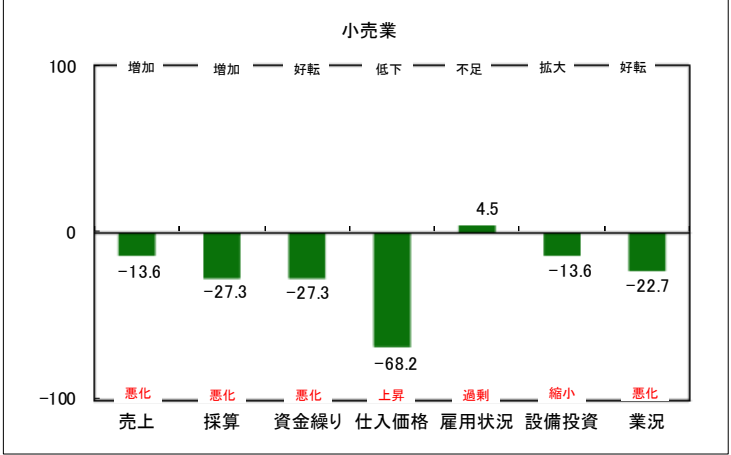
業種別景気動向

小売業

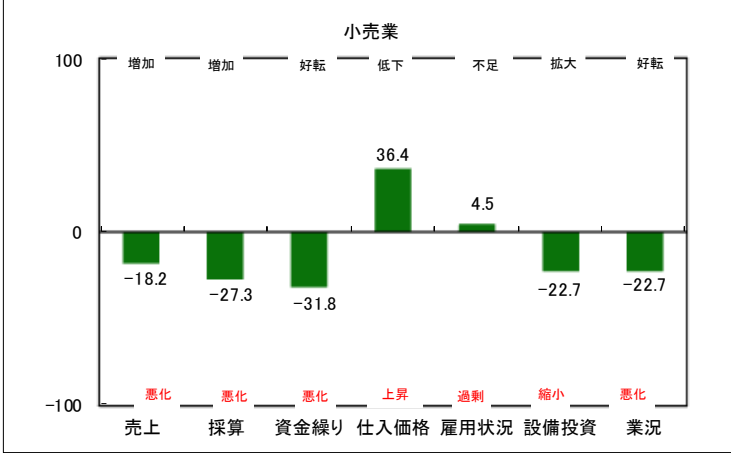
前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



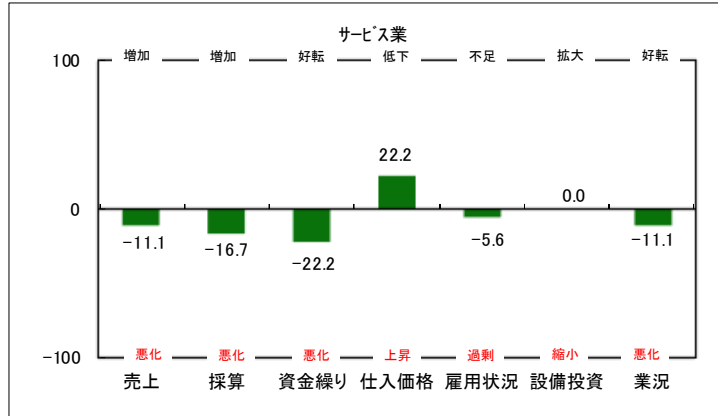
来期見通し(令和7年7～9月期見通し)



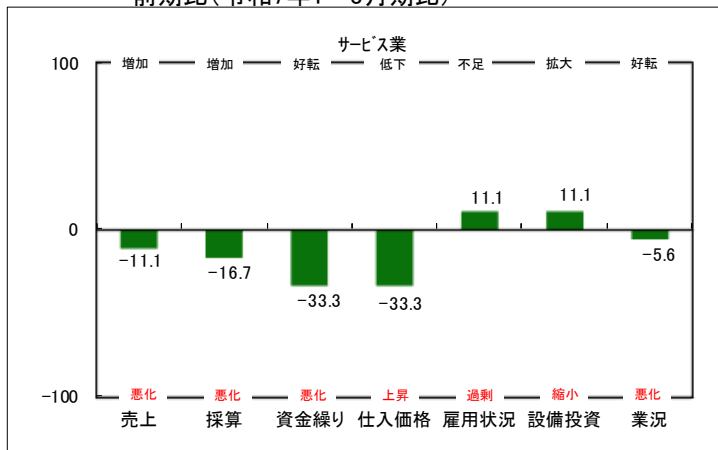
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和6年4～6月期比)



前期比(令和7年1～3月期比)



来期見通し(令和7年7～9月期見通し)

